

『伊賀市史』第5巻 資料編 近世 目次

<b>第一章 藤堂高虎の入封と伊賀</b>	<b>第六章 地域をとりまく諸相</b>
第一節 藤堂藩の成立と上野城	第一節 山論・水論
第二節 大坂の陣と藤堂藩	第二節 災害と疫病
第三節 伊賀統治のはじまり	<b>第七章 交通と流通</b>
<b>第二章 家臣団と統治機構</b>	第一節 伊賀の街道と交通
第一節 伊賀の家臣団	第二節 伝馬と助郷
第二節 伊賀の職制	<b>第八章 商工業</b>
第三節 城和領と上方屋敷	第一節 諸商売
<b>第三章 伊賀者と無足人</b>	第二節 諸職人
第一節 伊賀者	第三節 伊賀焼
第二節 無足人	<b>第九章 寺社</b>
<b>第四章 藩政下の村と町</b>	第一節 寺社と藩
第一節 村支配機構	第二節 寺社組織と地域社会
第二節 村社会	<b>第十章 幕末維新の伊賀</b>
第三節 町の運営	第一節 軍制改革
第四節 被差別民の役割とくらし	第二節 戊辰戦争と藤堂藩
<b>第五章 人々の生活と教養</b>	第三節 藤堂藩の修陵工事
第一節 村人のくらし	第四節 藤堂藩のおわり
第二節 祭礼・信仰・講	
第三節 町・村の教育と文化	
第四節 武士の生活と教養	